

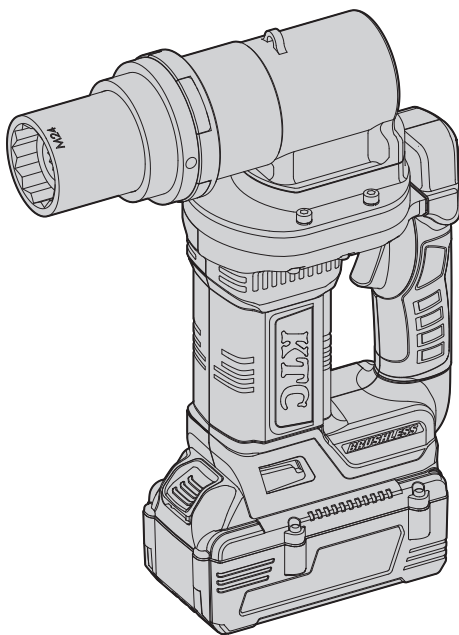
KTC

このたびは当社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みいただき、安全にご利用ください。

コードレストルシアレンチ No.JTAE951

取扱説明書

業務用



梱包内容をご確認いただき、不足、破損のある場合は、お求めの販売店までお申し出ください。

- 第三者に譲渡・貸与される場合も、この取扱説明書を必ず添付してください。
- この取扱説明書は、必要なときにすぐ読めるように、大切に保管してください。

発売元：京都機械工具株式会社

〒613-0034 京都府久世郡久御山町佐山新開地 128 番地

本製品に関するお問い合わせは、お求めの販売店、もしくは、お客様窓口にご連絡ください。

お客様窓口

☎ (0774)46-4159
FAX (0774)46-4359

E-mail: support@kyototool.co.jp
電話受付時間：9:00～12:00/13:00～17:00
(土・日・祝祭日及び当社休業日除く)

製品情報 ktc.jp

製造国：台湾

※仕様及び外観は改良の為予告なく変更することがあります。

T070075-0,20,02,KTC

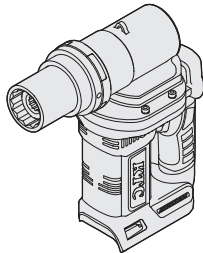
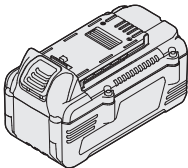
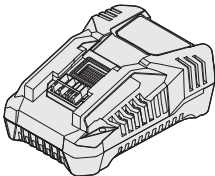
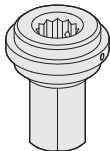
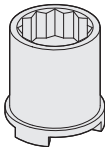
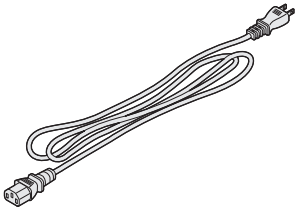
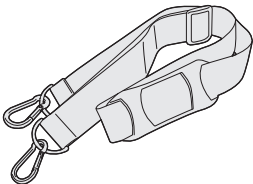
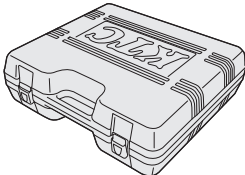
もくじ

製品の機能	3
梱包内容	3
製品仕様	3
■トルシアレンチ本体 No.JAE951	4
■バッテリーパック No.JBE36060	5
■充電器 No.JHE360	5
お使いになる前に	6
○バッテリーパックの充電	6
安全シグナルについて	6
安全上のご注意	6
本体の使用方法	8
■バッテリーパックの脱着	9
○バッテリーパックの取り外し	9
○バッテリーパックの装着	9
○充電する	10
○充電器ランプの見かた	11
○バッテリーインジケーターの見かた	11
■バッテリーパックについて	12
○長くお使いいただくために	12
○長時間ご使用にならないとき	12
○バッテリーパックの寿命	12
○バッテリーパックの廃棄	12
■トルシアレンチの使用方法	13
○ショルダーベルトの取り扱い	13
○アウターソケット、インナーソケットの交換	14
○本体ヘッドの回転	16
○ボルトの締め付け	18
○カウンターの見かた	20
■保管方法とメンテナンス	21
○作業が終わったら	21
○メンテナンス	21
■製品の廃棄について	22
故障かな？と思ったら	22

製品の機能

本製品は、トルシアボルトの締付けに使用する専用工具です。
その他の目的には、使用しないでください。

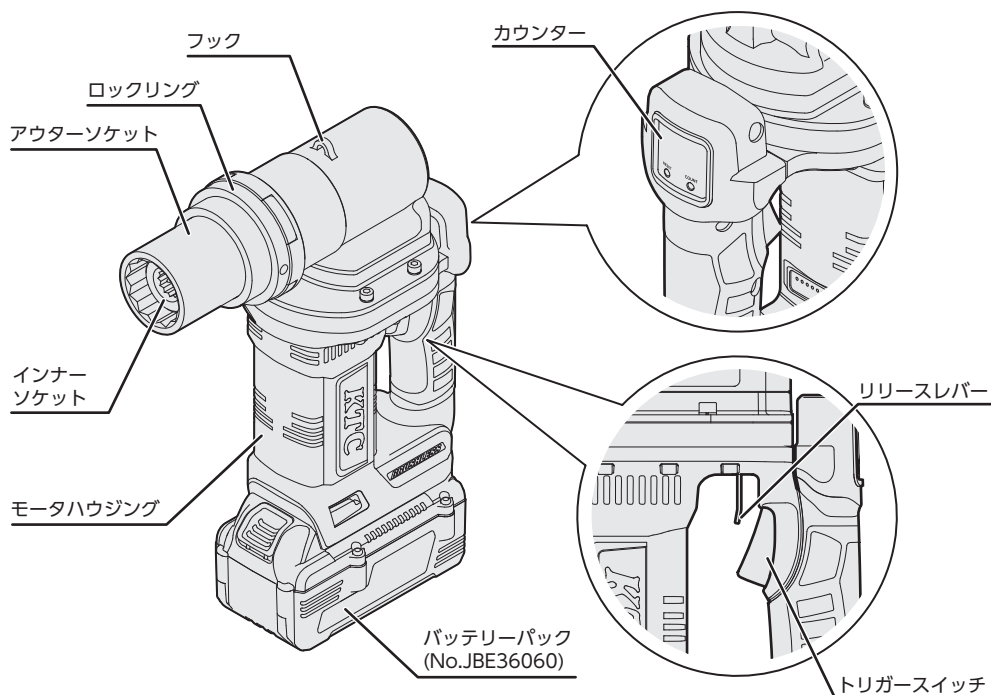
梱包内容

本体	バッテリーパック	充電器
		
インナーソケット	アウターソケット	電源コード
 M16用 x 1 M20用 x 1 M22用 x 1※ M24用 x 1	 M16用 x 1 M20用 x 1 M22用 x 1※ M24用 x 1	
ショルダベルト	専用ケース	取扱説明書
		

※M22用ソケットは出荷時に本体に装着されています。

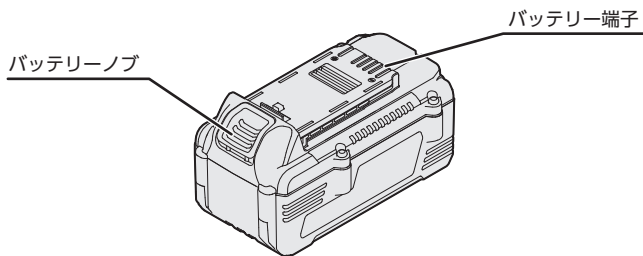
製品仕様

■トルシアレンチ本体 No.JAE951



方 式	コードレス充電式電動トルシアレンチ
入 力 電 圧	36V DC
適 用 ボ ル ト	M16 M20 M22 M24 トルシアボルト
首 振 り 角 度	0° 90° 180° 270°
ト ル ク	1,100 N・m ±15%
無 負 荷 回 転 数	15 rpm
寸法(長さx幅x高さ)	266.6mm x 108mm x 355.3mm
重 量	7.8 kg (バッテリー装着時)

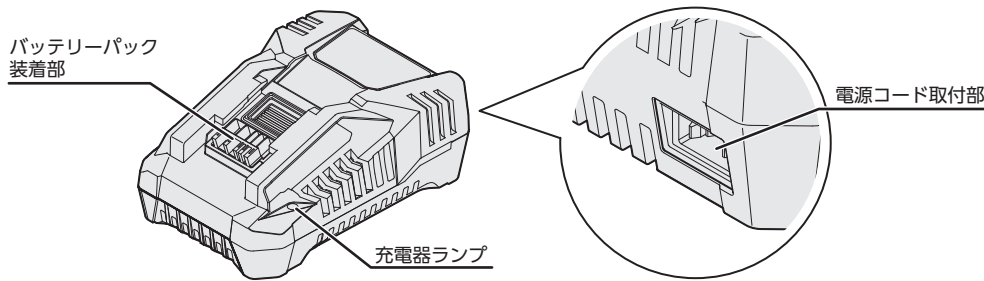
■ バッテリーパック No.JBE36060



充 電 池	リチウムイオン電池
交 渉 電 圧 ・ 容 量	36V DC 6000mAh
充 電 時 間	70 分 ※
寸法(長さx幅x高さ)	160.2mm x 91mm x 86.6mm
重 量	1.3 kg
充 電 器	JBE36060 (専用充電器)

※バッテリーパックの状態や充電されている環境により変化します。

■ 充電器 No.JHE360



入 力 電 圧	AC 100V～240V
入 力 周 波 数	単相交流 50/60Hz 共用
出 力 電 圧	18V 25.2V 36V DC
出 力 電 流	6A
操 作 温 度	0 ～ 45℃
保 管 温 度	-20 ～ 70℃
寸法(長さx幅x高さ)	219.2mm x 157.2mm 93.3mm
重 量	1.1 kg

お使いになる前に

○バッテリーパックの充電

ご購入時にバッテリーパックは充電されていません。ご使用前に必ず充電してください。



- ・充電は 0 ～ 50℃の場所で行う。
- ・バッテリーパックの温度が 0℃以下、または充電器が置かれている環境と大きく温度差がある場合は、バッテリーパックを充電器が置かれている環境で放置（1 時間以上）してから充電する。
- ・バッテリーパックを 2 個以上連続で充電する場合は、充電器が冷めるまで（30 分以上）充電を休止させる。

安全シグナルについて

この取扱説明書では、誤った使い方をしたときに発生する危害や損害の程度を、以下のように区分しています。



警告 誤った使い方をすると、死亡または重傷を負う可能性があります。



注意 誤った使い方をすると、負傷または器物損傷の原因となる可能性があります。

安全上のご注意

この取扱説明書には以下のマークを付けています。

拡大損害が予想される事項	必ず行う	使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく使用してください。
禁止行為	分解禁止	



警告

死亡や重傷の原因となる。

絵表示	重要事項	危害・損害
	●専用バッテリーパック、充電器以外は使用しない。	感電による死亡や重傷の原因になる。
	●雨中や湿気の多い場所で使用しない。	感電による死亡や重傷の原因になる。
	●ぬれた手で使用しない。	感電による死亡や重傷の原因になる。
	●可燃性ガスや液体のある場所で使用しない。	感電による死亡や重傷の原因になる。
	●点検および保管時は、バッテリーパックを本体から取り外す。	ケガや器物破損の原因になる。
	●本体を持って移動するときは、トリガースイッチに指をかけない。	ケガや器物破損の原因になる。



警告

死亡や重傷の原因となる。

絵表示	重要事項	危害・損害
	●暗い場所で作業を行わない。	ケガや器物破損の原因になる。
	●保護めがねや保護マスク、耳栓などの保護具を使用する。	ケガや器物破損の原因になる。
	●作業対象物を必ず固定する。	ケガや器物破損の原因になる。
	●バッテリーパックの装着は、トリガースイッチを切った状態で行う。	ケガや器物破損の原因になる。
	●バッテリーパックを火中に投入しない。	破裂や有害物質発生の原因になる。



注意

ケガや器物損傷の原因となる。

絵表示	重要事項	危害・損害
	●分解および改造をしない。	感電による死亡や重傷の原因になる。
	●保守点検を必ず行う。	ケガや破損の原因になる。
	●本体に亀裂や破損が無いか確認する。	ケガや破損の原因になる。
	●小さい子供がふれない所に保管する。	ケガや破損の原因になる。
	●トリガースイッチで始動、停止のできない製品は使用を中止する。	ケガや破損の原因になる。
	●本体が熱くなったり、異常を感じたら使用を中止する。	ケガや器物損傷の原因になる。
	●本体に落下などの強い衝撃を与えない。	本体の破損や器物損傷のおそれがある。
	●本体を投げない。	本体の破損や器物損傷のおそれがある。
	●直射日光の当たる場所や熱機器の近くなど、高温の場所には放置しない。	破損の原因になる。
	●水の中に落としたり、水の中に放置したりしない。	破損の原因になる。
	●取扱説明書に記載している以外の用途には、使用しない。	ケガや器物損傷の原因になる。
	●化学薬品、海水、水分などを付着させたまま放置しない。	破損の原因になる。
	●本体に油やグリースが付いた状態で使用しない。	ケガや器物損傷の原因になる。
	●本体、バッテリーパック、充電器に異物が混入しないようにする。	ケガや本体の破損、器物損傷のおそれがある。
	●修理は、必ず購入した販売店に依頼する。	ケガや器物損傷の原因になる。

本体の使用方法



死亡や重傷の原因となる。

絵表示	重要事項	危害・損害
	●電池が液漏れしたり、異臭がしたりするときは使用を中止する。	発熱、破裂などのおそれがある。万が一、電池の液が皮膚や衣服に付着した場合は、すぐに多量のきれいな水で洗い流す。
	●分解および改造をしない。	感電による死亡や重傷の原因になる。
	●バッテリーパックに衝撃を加えない。	感電による死亡や重傷の原因になる。
	●専用の充電器以外は使用しない。	ケガや器物損傷の原因になる。
	●充電時間が極端に短くなったバッテリーパックは使用しない。	感電による死亡や重傷の原因になる。
	●ぬれた手で使用しない。	感電による死亡や重傷の原因になる。
	●充電中に布や可燃物で覆わない。	火災や器物損傷の原因になる。
	●バッテリーパックの端子間を短絡させない。	火災や器物損傷の原因になる。
	●電源コードに異常が見られる場合は、使用を中止する。	ケガや器物損傷の原因になる。



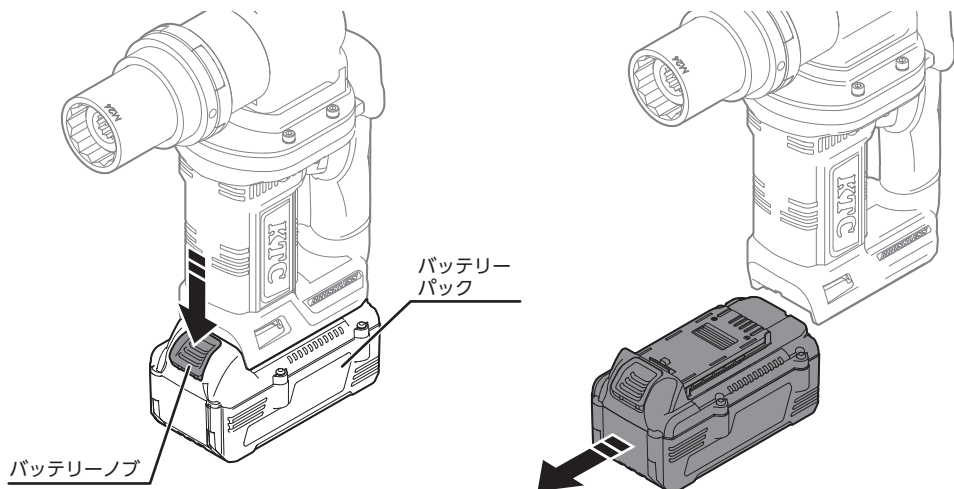
ケガや器物損傷の原因となる。

絵表示	重要事項	危害・損害
	● 充電器を使用しないときは、電源プラグを持ってコンセントから抜く。	ケガや破損の原因になる。
	● 充電器は、必ず100Vの電源を使用する。	ケガや破損の原因になる。
	● 電源コードは、定期的に点検する。	ケガや破損の原因になる。
	● 直流電源やエンジン発電機に充電器を接続しない。	ケガや破損の原因になる。
	● 温度が0℃未満、または50℃以上の環境で充電を行わない。	ケガや破損の原因になる。
	● 充電器の電源コードを持って運ばない。	破損の原因になる。
	● 電源コードを熱源に近づけない。	破損の原因になる。
	● バッテリーおよび本体の端子部にキズやホコリが付かないようにする。	破損の原因になる。

■バッテリーパックの脱着

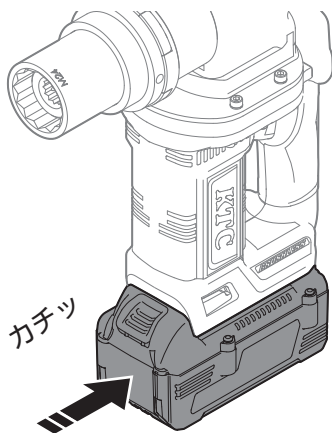
○バッテリーパックの取り外し

バッテリーノブを押しながら、バッテリーパックを前方に引き出す。



○バッテリーパックの装着

- ①バッテリーパックを本体に装着する。
- ②バッテリーノブのロックがかかったことを確認する。(カチッと音がる)

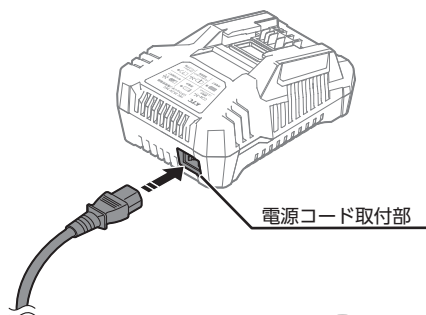


- ・本体の端子部に異物がないことを確認する。
- ・バッテリーパックがスムーズに装着できない場合は、無理に装着せず、購入した販売店に修理を依頼する。

■バッテリーパックの充電

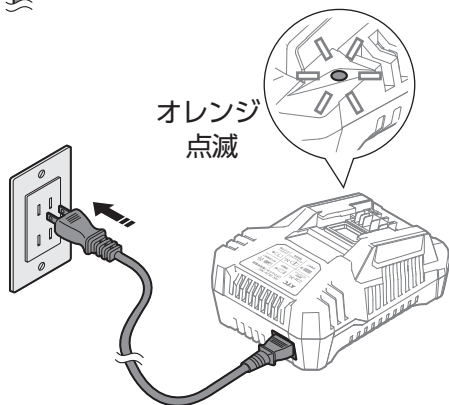
○充電する

- ①充電器の電源コード取付部に、電源コードのコネクタを差し込む。



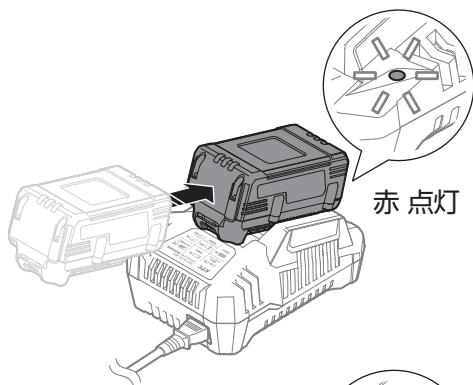
- ②コンセントに、電源コードの電源プラグを差し込む。

オレンジ色 LED が点滅します。

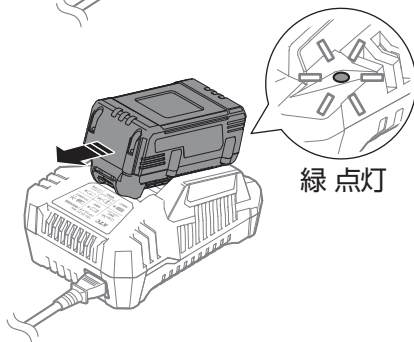


- ③バッテリーパックおよび充電器の端子部に異物がないことを確認し、充電器のバッテリーパック装着部にバッテリーパックを差し込む。

充電器の赤色 LED が点灯します。

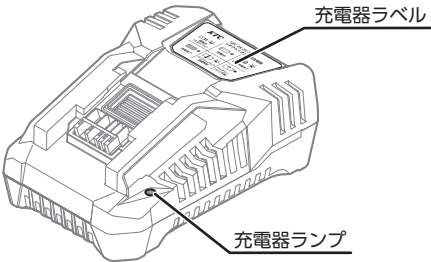


- ④充電器の緑色 LED が点灯し、充電が完了したら、充電器からバッテリーパックを引き抜く。



○充電器ランプの見かた

充電時は、以下の方法で充電状態を示します。



充電器ラベル

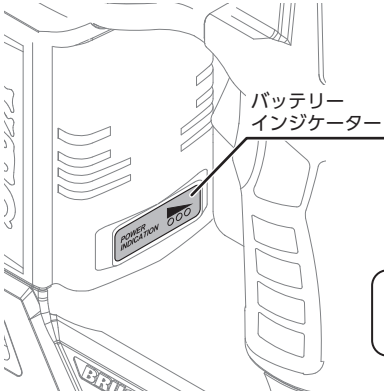
KTC
18V 25.2V 36V
リチウムイオン専用充電器

通電中 (スタンバイ)	充電中	80%充電完了
充電完了	バッテリーパック 温度異常	バッテリーパック 不明

ランプ	アイコン	内 容	充電器およびバッテリーパックの状態
オレンジ点滅		通電中 (スタンバイ)	充電器に電源が入っています。
赤点灯		充電中	正常に充電中です。
緑点滅		80%充電完了	
緑点灯		充電完了	正常に充電が完了しました。
赤点滅		バッテリーパック 温度異常	バッテリーパックの温度が異常です。適正な温度になってから充電してください。
オレンジ点灯		バッテリーパック 不明	バッテリーパックの故障か、正規のバッテリーではありません。

○バッテリーインジケータの見かた

本体にあるインジケータは、本体が稼働状態のとき、その時点のバッテリーの状態を表示します。



バッテリーインジケータ

POWER INDICATION

LED

満充電時

POWER INDICATION

要充電時

POWER INDICATION

■バッテリーパックについて

○長くお使いいただくために

- ・バッテリーパックを使用しないときは、ホコリが付かない場所で保管してください。
- ・短絡させないように保管してください。

○長時間ご使用にならないとき

- ・バッテリーを 80% 程度充電した状態で、保管してください。保管中も 6 ヶ月に一回程度、バッテリーを充電してください。

○バッテリーパックの寿命

- ・満充電しても、ご購入後と比較して半分程度の作業しかできなくなったときは、バッテリーパックの寿命です。新しいバッテリーパックをお買い求めください。バッテリーパックは、消耗品扱いとなります。

○バッテリーパックの廃棄

- ・本製品に使用しているリチウムイオン電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済みのバッテリーパックは廃棄せず、リサイクル協力店までお持ちください。



- ・バッテリーパックを火中に投入しない。



- ・バッテリーパックを廃棄するときは、テープなどを使用し、短絡防止の措置をとる。

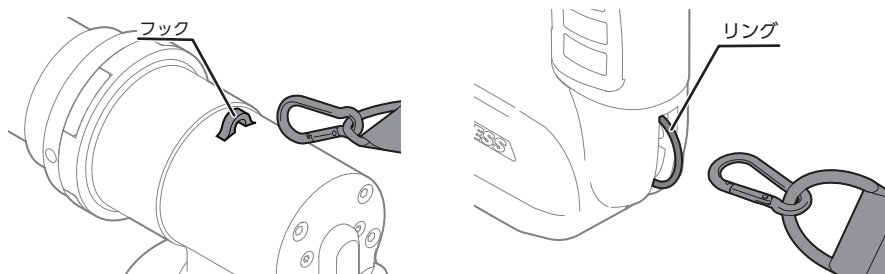
■トルシアレンチの使用方法

⚠ けいこ 警告 死亡や重傷の原因となる。		
絵表示	重要事項	危害・損害
!	●本体を確実に保持する。	ケガや器物破損の原因になる。
⊘	●回転する先端に顔や手を近づけない。	ケガの原因になる。
⊘	●長時間の連続作業はしない。	本体の温度上昇で、ケガや器物破損の原因になる。
!	●高所での作業は、下に人がいないことをよく確認し行う。	ケガの原因になる。

⚠ ちゅうい 注意 ケガや器物損傷の原因となる。		
絵表示	重要事項	危害・損害
⊘	●軍手などの巻き込みのおそれがあるものは使用しない。	ケガや器物破損の原因になる。
⊘	●スカーフやネクタイなどの巻き込みのおそれがあるものは着用しない。	ケガや器物破損の原因になる。
⊘	●空回転させない。	ケガや器物破損の原因になる。
⊘	●本体から出る空気に触れない。	火傷やケガの原因になる。
!	●トルシアレンチ専用ソケットを使用する。	ケガや器物破損の原因になる。
⊘	●重量物のため落下させない。	ケガや器物破損の原因になる。

○ショルダーベルトの取り扱い

付属品のショルダーベルトは、本体上端のフックと、後端のリングに掛けて使用します。

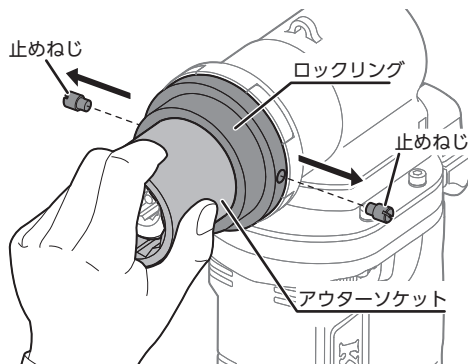


⊘	●ショルダーベルトは、本体の運搬以外には使用しない。
!	●本体を使用するときは、必ずショルダーベルトを取り外す。
!	●ショルダーベルトは、必ず付属の専用品を使用する。

○アウターソケット、インナーソケットの交換

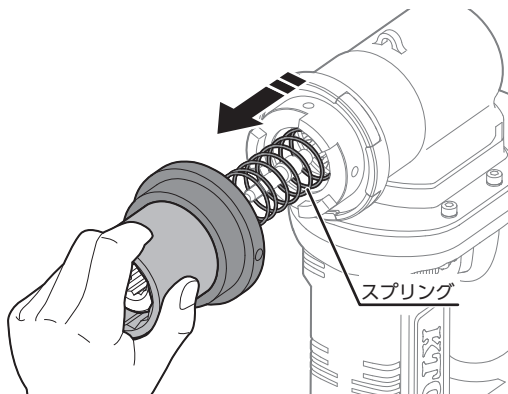
取り外し方法

- ①アウターソケットを手で保持しながら、ロックリングに取り付けられている止めねじ2個を取り外す。



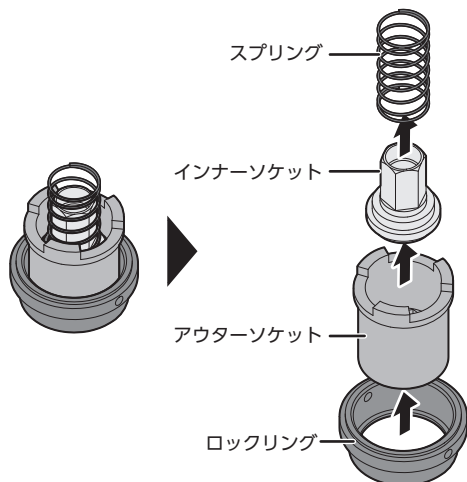
- ・必ずバッテリーを外した状態で行う。
- ・止めねじを紛失しないように注意する。

- ②スプリングの力で、アウターソケット、インナーソケット、ロックリングが矢印の方向に押し出されるので、すべて取り外す。



- ・勢いよく外れる場合があるので、アウターソケットを手でしっかりと保持する。

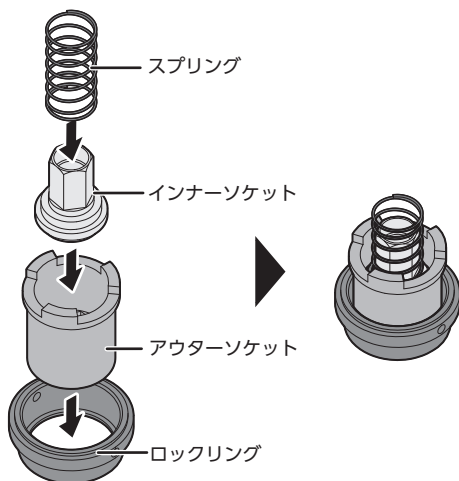
- ③取り外したアウターソケット、インナーソケット、ロックリング、スプリングをそれぞれ分解して取り外し完了。



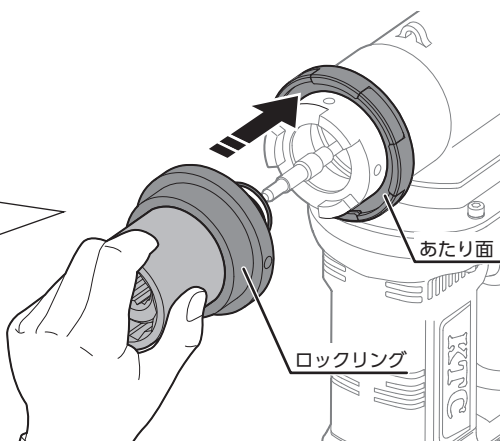
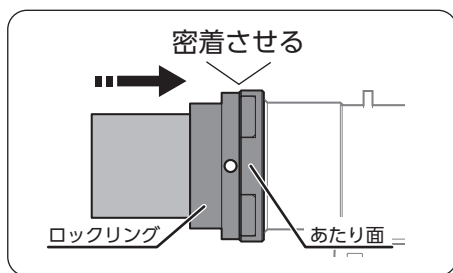
○アウターソケット、インナーソケットの交換

取り付け方法

- ①取り外し手順とは逆の順番で、ロックリング、アウターソケット、インナーソケット、スプリングを組み立てる。



- ②組立てたロックリング、アウターソケット、インナーソケット、スプリングを本体に組み付ける。このとき、ロックリングを本体のあたり面にしっかりと密着させる。

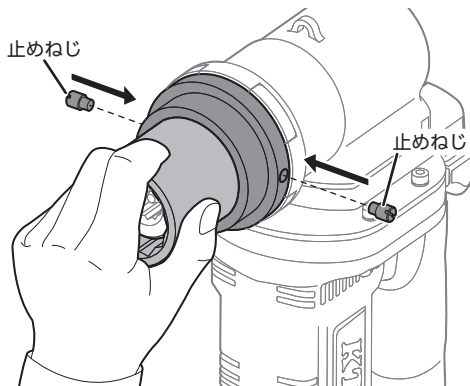


- ③ロックリングが本体のあたり面にしっかりと密着していることを確認し、止めねじ 2 個を取り付けて完了。

締め付けトルク：1.5 N・m



・止めねじを締め付けすぎない。



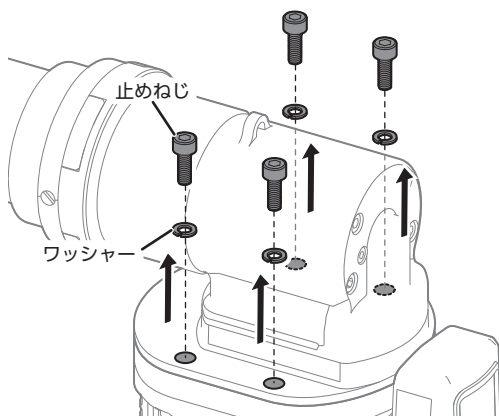
○本体ヘッドの回転

- ①本体に取り付けられている止めねじ4個とワッシャー4個を取り外す。

使用レンチサイズ：六角4mm



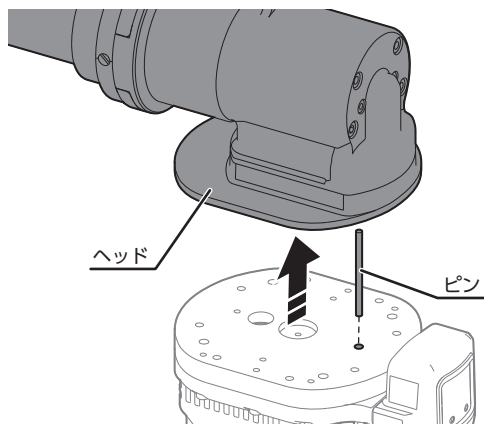
- ・必ずバッテリーを外した状態で行う。
- ・止めねじを紛失しないように注意する。



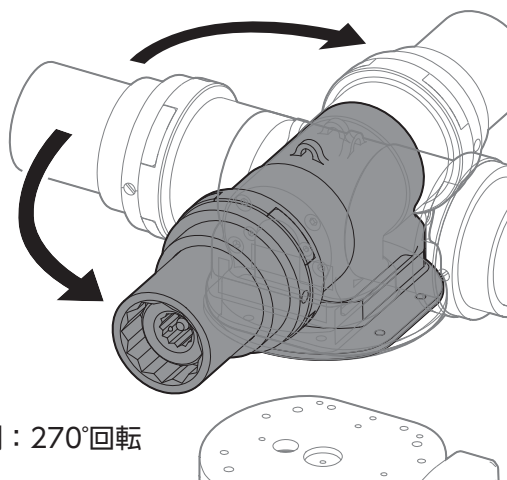
- ②ヘッドを取り外す。このとき、リリースレバーのピンが同時に外れる。



- ・ピンを紛失しないように注意する。



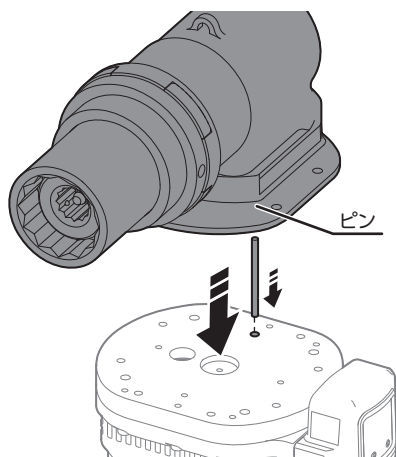
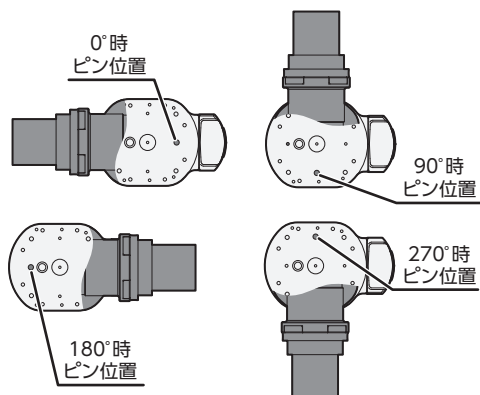
- ③ヘッドを回転させる。
90° 180° 270° の回転が可能



例：270°回転

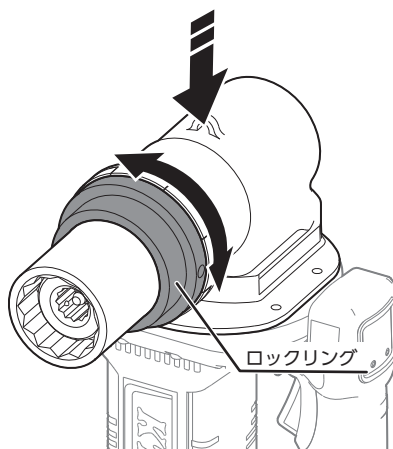
○本体ヘッドの回転

- ④外したピンを本体の穴（下図参照）に差し込み、ヘッドをかぶせていく。



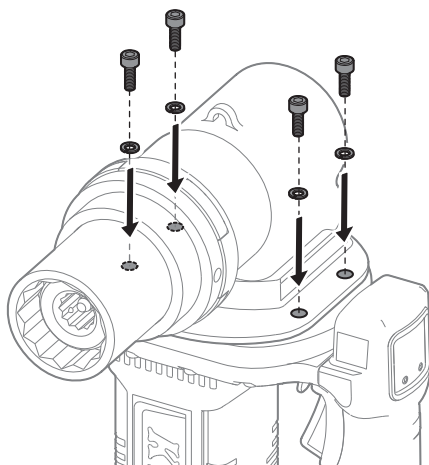
- ⑤ヘッドを本体にしっかりと装着する。

うまく入らない場合は、ロックリングを回しギアの位置を微調整することで、ヘッド側のギアと本体側のギアがかみ合います。



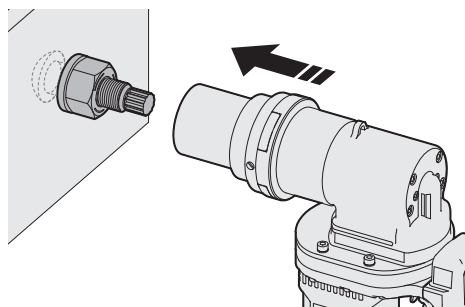
- ⑥ヘッドと本体が密着していることを確認し、ワッシャー4個と止めねじ4個を取り付けて完了。

締め付けトルク：1.5 N・m

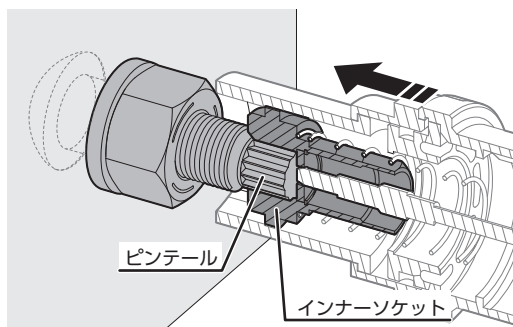


・ヘッドを回転させると重心バランスが変化するため、転倒しないように注意する。

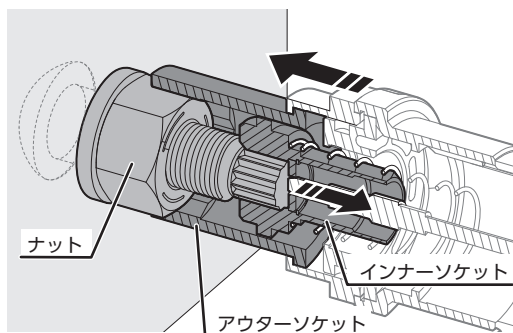
○ボルトの締め付け



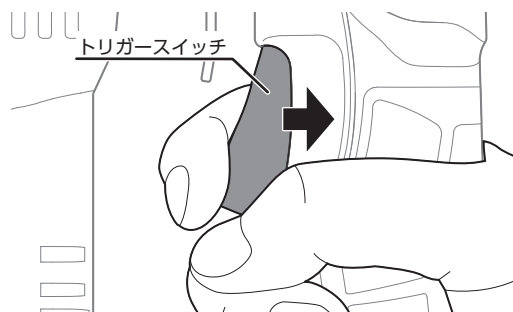
- ①インナーソケットをボルトのピンテールにしっかりとはめ込む。



- ②さらに押し込み、アウターソケットをナットにはめ込む。このとき、インナーソケットは本体奥へと押し込まれます。



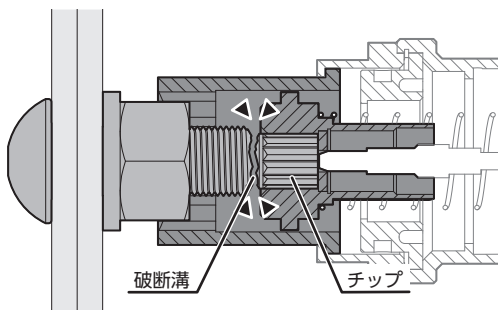
- ③インナーソケット、アウターソケットがボルトナットにしっかりとかん合したことを確認し、トリガースイッチを引く。



・レンチ本体をボルトナットへ押し付けない。

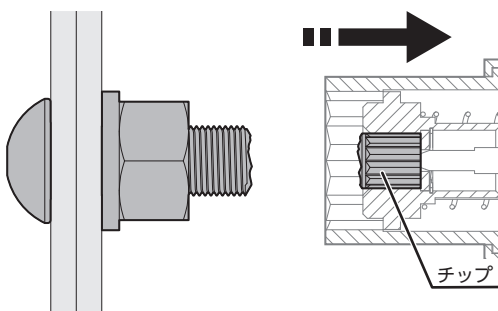
○ボルトの締め付け方法

- ④トリガースイッチを引いた状態で規定のトルクに達すると、ボルトのピンテールが破断溝でせん断される。



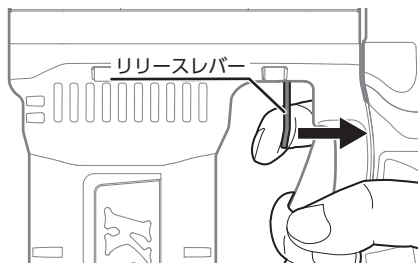
- ⑤トリガースイッチを戻し、本体をボルトナットから離す。

※ピンテールはインナーソケットにチップとして残ります。



- ⑥本体をボルトから外し、リリースレバーを引いてチップを排出し完了。

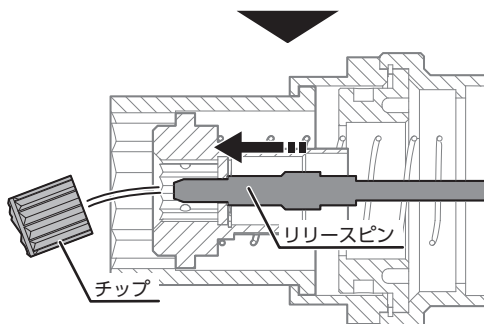
※リリースピンによってチップが押し出されます。



・一度使用したナットは再度使用しない。

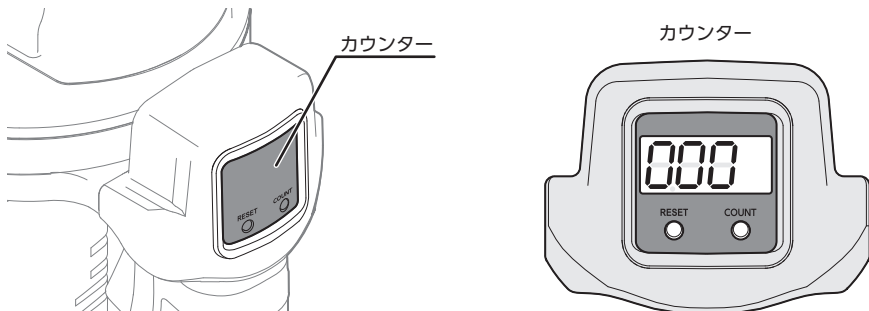


・チップの排出は、対人対物に注意し、安全な場所で行う。



○カウンターの見かた

本体にあるカウンターは、本体が稼働状態のときに機能します。
カウンターには通常のせん断カウント機能に加え、総せん断カウント数を表示する機能があります。



《通常カウント機能》

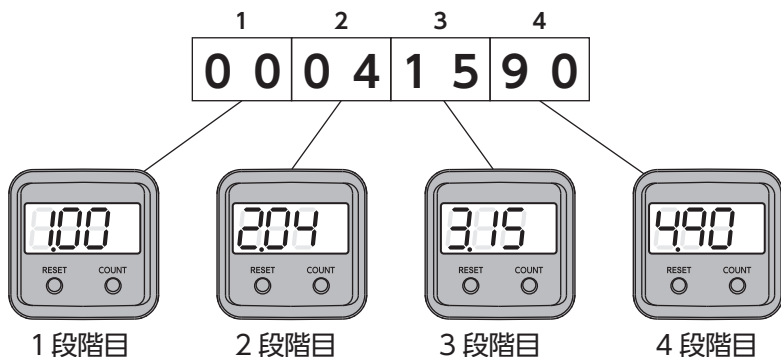
せん断本数をカウントします。本体を稼働させるとカウンターのバックライトが点灯し表示されます。最大 999 本までのカウントが可能です。
RESET ボタンを長押しすることで、リセットできます。

《総カウント表示機能》

これまでの総せん断本数を表示できます。最大 8 桁 99,999,999 本までをカウント可能で、COUNT ボタンを押していきことで段階的に表示されます。(下図参照)
RESET ボタンを押してもリセットはできません。

例) 総せん断本数が 41590 本の場合

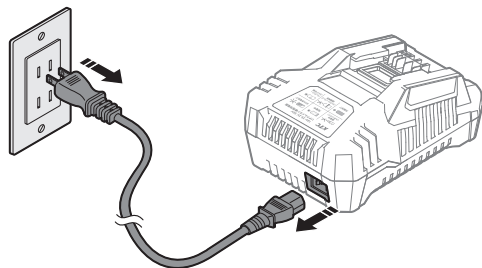
総カウントは 00041590 となり、COUNT ボタンを押していきことで左から順番に 4 段階に分割して表示されます。



■保管方法とメンテナンス

○作業が終わったら

- ① 本体のインナーソケットにチップが残っていないか確認する。
- ② 充電器から電源コードのコネクタを抜く。
- ③ コンセントから電源コードの電源プラグを抜く。
- ④ 専用ケースに入れ保管する。



- ・ ゴミ、ホコリの多い場所・溶剤などの引火物のある場所では保管しない。
- ・ 子供の手が届く場所・自動車の車内・直射日光が当たる場所・多湿な場所では保管しない。
- ・ ホコリの付かない場所で保管する。

○メンテナンス

《本体の汚れ》

本体およびバッテリー、充電器が汚れた場合は、バッテリーを外した状態で、柔らかい布などを使用し、ふき取る。

《各部の点検》

バッテリーを外した状態で、各部ねじの緩み、充電器の電源コードなどの亀裂、破損などの異常がないか、定期的に点検する。



- 本体およびバッテリー、充電器のふき取り
 - ・ めれた布やシンナー、アルコール、ベンジンなど揮発性のもので本体をふかない。
- 充電器、バッテリーパック
 - ・ 充電器は、必ずコンセントから電源コードを抜いてメンテナンスを行う。
 - ・ 端子部にゴミやホコリが付着している場合は、非金属製ブラシなどを使用して、端子部に無理な力がかからないように気を付けて取り除く。

■製品の廃棄について

本製品を廃棄するときは、廃棄する地域の自治体の条例に従い、適切に処理してください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、下記の点検をお願いします。

症 状	考えられる原因	対処の方法
動作が途中で停止する。	本体が高温になり、保護機能が働いている。	作業を中断し、本体の温度が下がってから使用する。
動作が途中で停止する。 バッテリーパックが温度異常（パワーインジケータがすべて点滅する）。	バッテリーパックが高温になり、保護機能が働いている。	作業を中断し、バッテリーパックの温度が下がってから使用する。
動かない。または動いてもすぐ止まる（パワーインジケータのLED1個が点滅する）。	バッテリーパックを充電していない。	充電する。
動かない。トリガースイッチを引いても操作できない。	バッテリーパックと本体の接点部にゴミが付着している。	ゴミを取り除く。
	バッテリーパックが故障している。	新しいバッテリーパックに交換する。
満充電しているのに締付トルクが弱く、ボルトをせん断できない。	バッテリーパックの寿命。	新しいバッテリーパックに交換する。
	バッテリーパックを長期間放置していた。または購入したばかりである。	充電する。
	温度が低い場所（0℃以下）で保管したバッテリーパックを使用した。	バッテリーパックの温度が、0～50℃になってから再度充電する。
リリースレバーを引いてもチップが排出されない。	リリースピンが摩耗している。	リリースピンを交換する。
	インナーソケットが噛みこんでいる。	インナーソケットを取り外し、チップを取り出す。
		インナーソケットを交換する。
リリースピンが戻らない。	リリースピンが摩耗している。	リリースピンを交換する。
	リリースピンが噛み込んでいる。	アウターソケットをハンマー等で軽く叩いて戻す。
		アウターソケット、インナーソケットを外し、リリースピンを引っ張り出す。

修理を依頼される前に、下記の点検をお願いします。

症 状

コンセントに電源コードの電源プラグを差し込んでも、通電中（スタンバイ）（オレンジ LED が点滅）にならない。

日常使用しているバッテリーパックが充電開始後 1.5 時間以上充電しても、充電完了（緑色点灯）にならない。

長期間使用していなかったバッテリーパックが充電開始後 4 時間以上充電しても、充電完了（緑色 LED が点灯）にならない。



上記の対処方法を実施しても症状が改善されない場合は、直ちに使用を中止する。

各部の点検で、症状の改善が見られない場合は、

本体・バッテリーパック・充電器

をセットで、ご購入の販売店または KTC 取扱店に修理
を依頼してください。

